

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M232W303	国際医療・看護論 (Introduction to International Medicine and Nursing)	専門教育科目 統合分野

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	3	後	火曜 3・4・5限	原田千鶴・西園 晃・井上 亮 他 内線：5035 E-mail：charada@oita-u.ac.jp

【授業の概要・到達目標】

世界の健康問題を Universal Health Coverage：UHC の観点から理解し、その基本的な方法論や異文化理解能力について学ぶ。

具体的な到達目標	看護学科ディプロマポリシーとの対応						
	1	2	3	4	5	6	7
1. 国際看護の概念や定義を説明することができる。	○						
2. ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ (UHC) の概念を説明できる。	○						
3. 世界の健康問題を通じ健康の社会的決定要因について説明できる。	○						
4. UHC における基本的な方法論について説明できる。	○						
5. 異文化理解や異文化間コミュニケーションを促進する能力について考える。		○					
6. 世界の健康問題における看護の役割について考え、表現できる。					○		

【授業の内容】

回数	内容	方法
1	国際看護学の概念、国際協力諸機関、開発途上国の保健・医療システムと国際協力	講義
2	世界の健康と健康に影響を与える諸要因	講義
3-4	UHC におけるアプローチ<Primary Health Care><Transcultural Nursing care>	講義
5	トラベルメディシン	講義
6	国際医療援助活動の実際(1) スマトラ島地震における医療活動	講義
7	国際医療援助活動の実際(2) 国際赤十字連盟における難民の医療支援	講義
8-10	課題探求演習：世界の健康問題と看護の役割	調査・演習
11	成果発表、まとめ	成果発表

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A：知識の定着・確認	○	リアクションレポート	<ul style="list-style-type: none"> 各回の講義でのテーマについてリアクションシートを履修生間で共有し意見交換する 世界の健康に関連する課題をグループ探求する
B：意見の表現・交換	○	フリーディスカッション・課題レポート・	
C：応用志向	○	課題探求（調査・アンケート）とその成果発表	
D：知識の活用・創造			

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	配布資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。(15h)
事後学修	講義で学習したことを活かし、8・9・10回目の課題演習の完成度を高める。(11h)

【教科書】 教科書は指定しない。講義中に配布する資料を使用する。

【参考書】 日本国際看護学会 国際看護学入門 第2版 医学書院 2020年

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5
リアクションレポート	30%	○	○	○	○	
課題探求演習の成果発表	40%	○	○	○	○	○
課題探求演習後の課題レポート	30%					○

【注意事項】

【備考】 具体的な日程は、7月中旬に掲示板で公表する。

教員の実務経験の有無	○	
教員の実務経験	看護師（国際組織での看護活動経験者 原田千鶴 医師（病院、発展途上国に対する医療援助・感染症研究者）西園晃 井上亮	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無		
教員以外の指導に関わる実務経験者		
実務経験をいかした教育内容	国内外を問わず、病院の医師や看護師としての経験から、国際医療・看護の理解とともに、課題などについての学習を支援する。	
授業形態	講義・演習	